

出張復命書

所属・職名・氏名	地域サポートセンター仲よし 平松啓生
出張目的	令和 8 年度 発達障害者支援センター運営事業連絡協議会
出張先	岡山県立図書館 2 階 サークル活動室 1・2
出張期日	令和 8 年 5 月 28 日
相手方対応者 (職名・氏名)	岡山県子ども・福祉部障害福祉課 社会福祉法人旭川荘／おかやま発達障害者支援センター
復命概要	1, 開会 岡山県障害福祉課 北山課長「令和 7 年度には全国に先駆けて集中的支援をスタートしたことに加え、今年度は早期支援に取り組んでいく」 2, 議題 (1) 令和 7 年事業報告 ・全体の半数が相談支援に関する内容 ・美作エリアからの相談ニーズが高い ・成人期（就労、ひきこもり、強度行動障害）の相談が多いが、ひきこもり相談は減少傾向 ・移行期（中学⇄高等部⇄卒後）に関する支援の引継ぎ依頼が多い ・支援者支援に関することが全体の 3 割 ・インテークの相談対応として、身近な地域とのつながりを意識して関わるようにしている ・強度行動障害（集中的支援）のケースに関わった。事業所訪問型 1 ケース、居住支援型 1 ケース ・コンサルテーションは支援学校からの依頼が多い (2) 令和 8 年事業計画 センターの役割・機能として、計画の 3 本柱にもとづいて 1 次、2 次、3 次的な支援を行う。(資料) 1 次的支援：市町村発達障害者支援コーディネーターと連携してすすめる 2 次的支援：領域間での相互理解、移行期の連携 3 次的支援：支援パッケージを導入し、地域実装していく 第 4 期発達障害のある人のトータルライフ支援プロジェクト（資料） A：市町村の切れ目のない支援体制整備のサポート B：発達障害のある人と家族に対する支援の充実に関するサポート C：「多領域の支援者」を対象に「ライフステージの移行期」に焦点を当てた研修会・連絡会 (3) 意見交換 当協会からは、令和 7 年度から集中的支援が開始され本人にとって専門的支援が提供されることは大変心強いこと。おかやま発達障害者支援センターの協力により「強度行動障害にも対応した相談支援専門研修」を 3 年にわたり開催できていることのお礼と今年度も協力をお願いしたいこと等、お伝えしました。 (当日の内容については議事録が作成されるということです。)

会長検印

令和 8 年 6 月 8 日

小田 拓 

平成 28 年 5 月 31 日現在